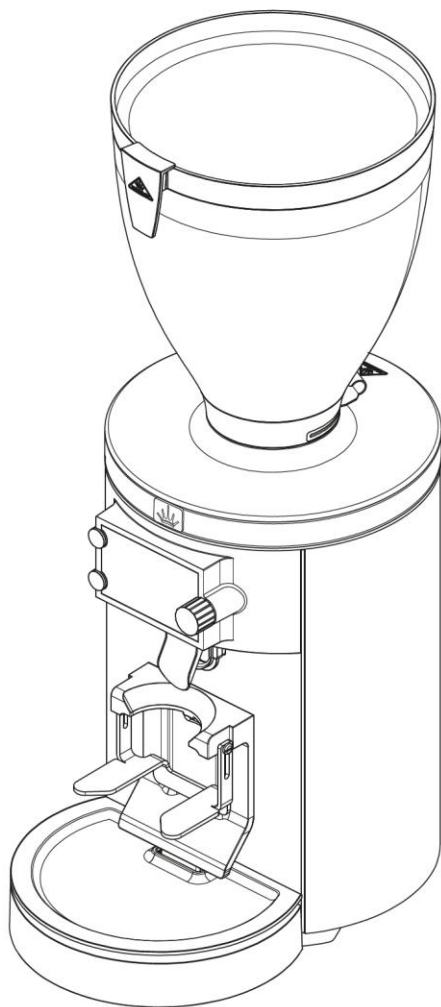


E65W GbS

取扱説明書



Melitta®
メリタジャパン

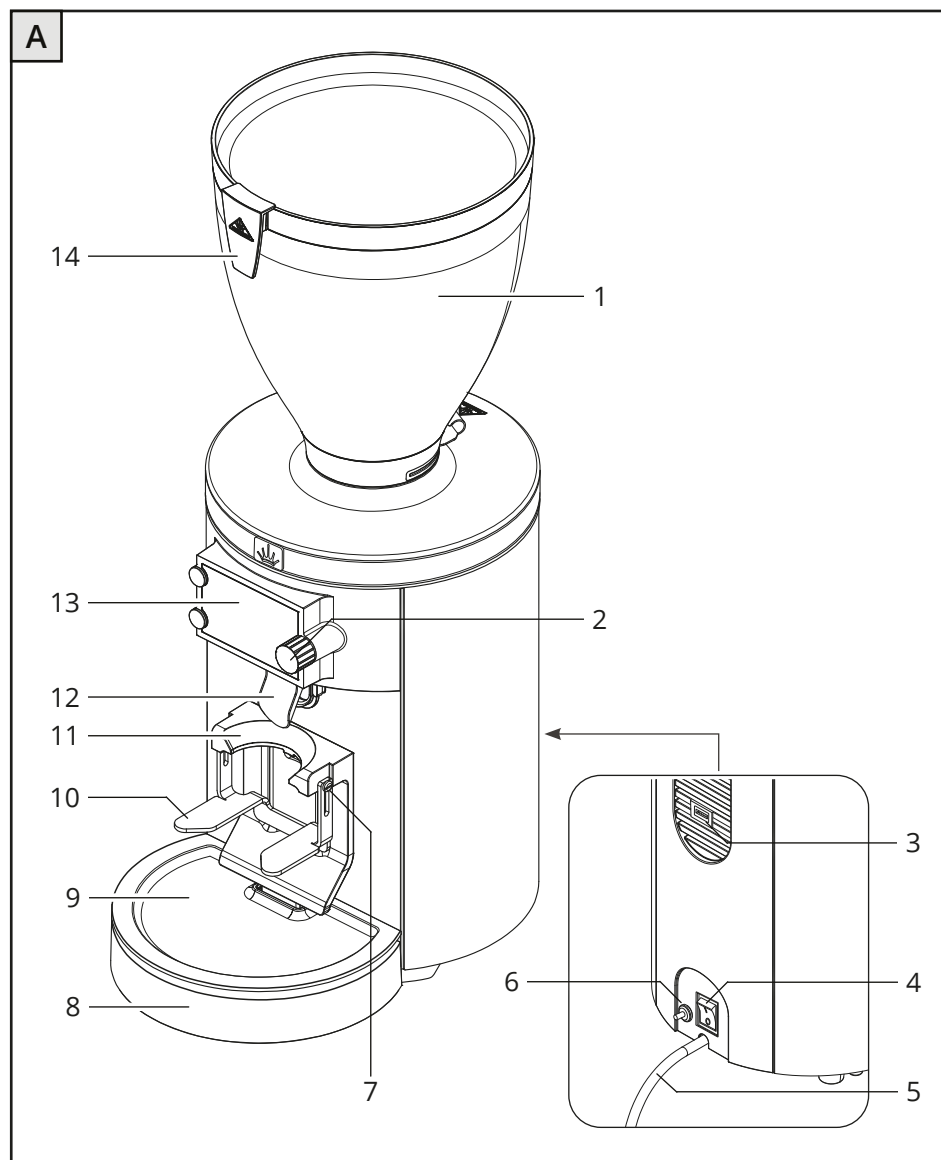
目次

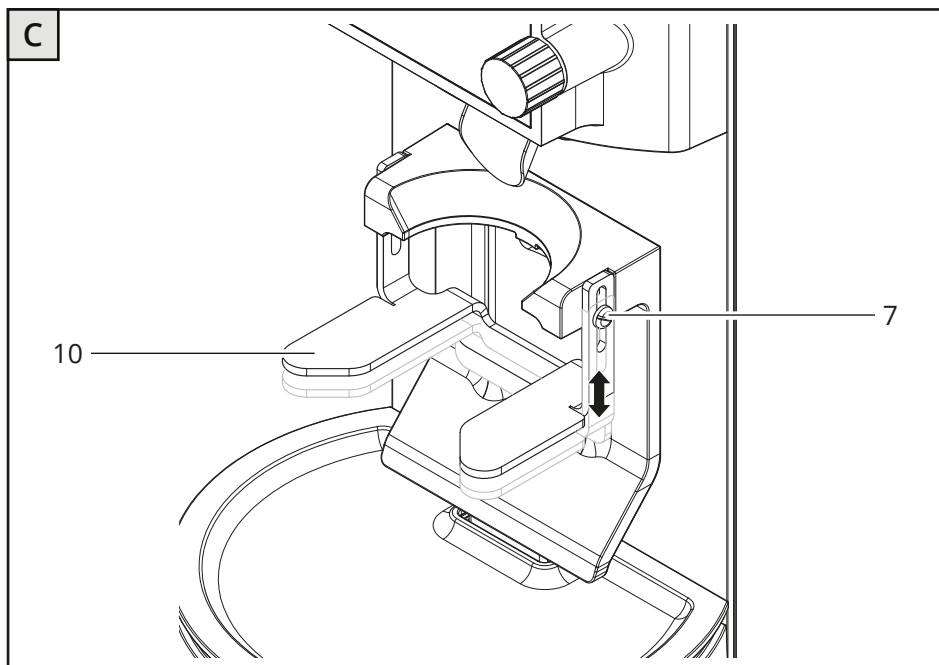
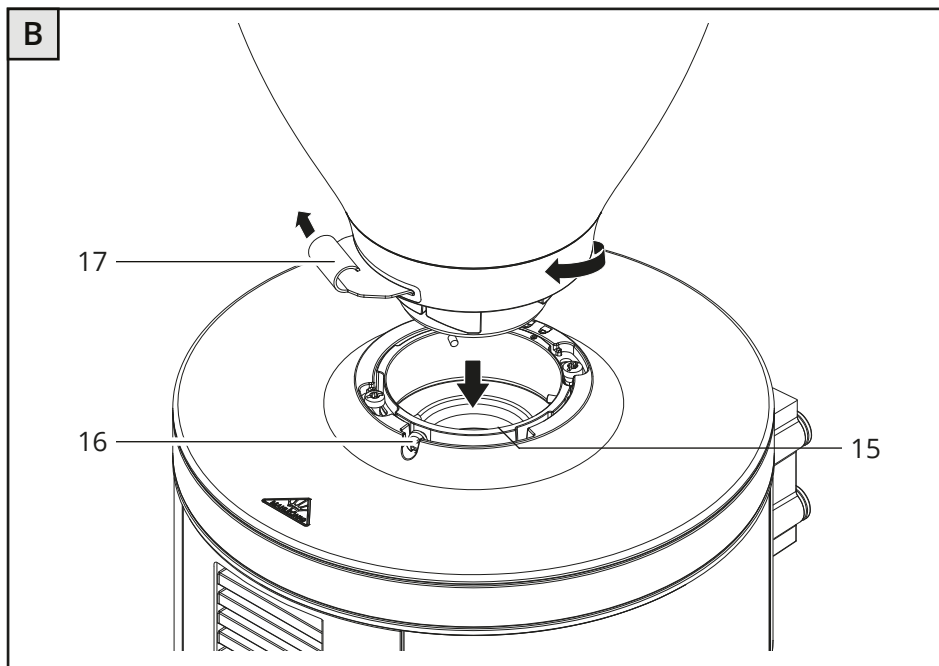
概要	3	グラインダーの使用	19
納品内容/部品	6	豆挽きを開始する	20
一般事項	7	レシピ選択による豆挽き	20
取扱説明書の熟読および保管について	7	ポータフィルター検出での豆挽き	21
ソフトウェア説明書	7	グラインダーを空になるまで挽く	21
使用記号の説明	8	豆挽きを中断する	22
安全について	9	メインメニューの使用/設定	22
適切な使用	9	メインメニューを呼び出し	
安全に関する注意事項	9	て操作する	22
グラインダーの仕組み	12	レシピを編集する	23
操作モード	12	ポータフィルター検出の使用	23
レシピの選択	12	ロードセルの校正	24
ポルタフィルター検出	13	グラインドディスク	
レシピ詳細	13	間隔の精密校正	24
設定モードと分量	13	清掃	25
挽き具合	13	グラインダー底面を清掃する	26
Grind-by-Sync	14	筐体を清掃する	26
豆挽きの開始/停止	14	挽き口システムを清掃する	27
重量/時間設定モードでのレシピ	14	豆ホッパーを清掃する	27
手動設定モードのレシピ	14	グラインダーを清掃する	28
初回起動	15	不具合の是正	29
グラインダーと納品内容を確認する	15	仕様情報	33
グラインダーを設置し、接続する	15	廃棄	34
基本的な取扱い	16	梱包を廃棄する	34
豆ホッパーを配置する/取り外す	16	グラインダーを廃棄する	34
豆ホッパーを配置する	16	メンテナンスとサービス	34
豆ホッパーの取り外し	16		
ポルタフィルターホルダーサポー			
トと挽き口を調整する	17		
グラインダーのオン/オフ	18		
グラインダーの電源を入れる	18		
グラインダーの電源をオフにする	18		
コーヒー豆を投入する	18		
コーヒー豆の種類を変更する	18		

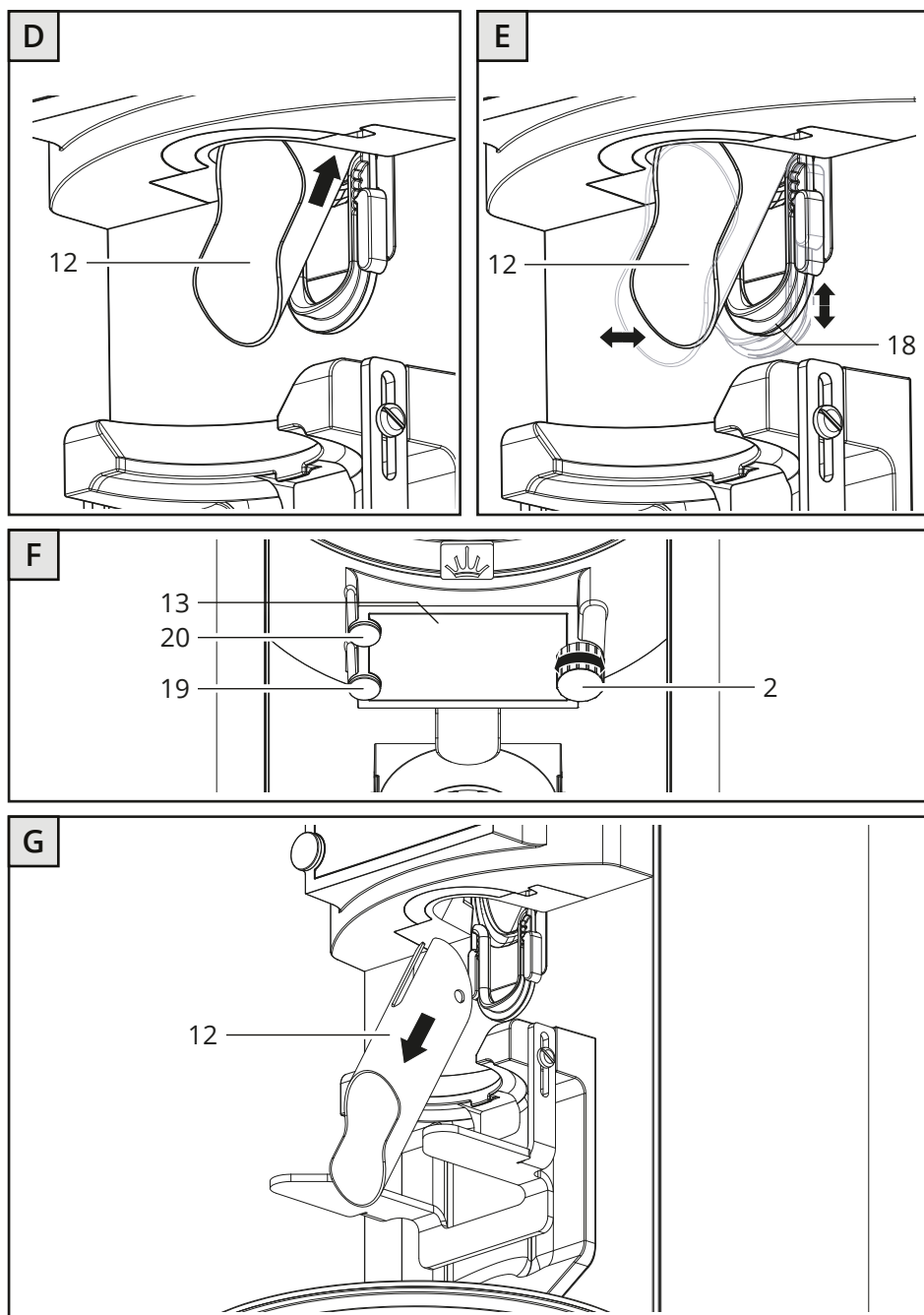
概要



表示されているすべての画像は一例です。場合によっては、ご使用のグラインダーの外観や詳細部分が異なる場合があります。







納品内容/部品

番号 名称

- 1 豆ホッパー（フタ付）
- 2 回転ノブ
- 3 USBポート
- 4 電源スイッチ
- 5 プラグ付き電源ケーブル
- 6 解除ボタン（過電流保護用温度ヒューズ）
- 7 ポータフィルターホルダーサポート調整用ねじ、左右で2個
- 8 ロードセルカバー
- 9 ドリップトレイ
- 10 ボルタフィルターホルダーサポート
- 11 ボルタフィルターホルダー受け
- 12 挽き口
- 13 ディスプレイ
- 14 使用する豆の種類に応じたクリップ
- 15 豆ホッパー受け
- 16 豆ホッパーのロックねじ
- 17 スライド式つまみ
- 18 挽き口ガイド
- 19 下部操作ボタン
- 20 上部操作ボタン

一般事項

取扱説明書の熟読および保管について



コーヒーグラインダー E65W GbS* をお使いになる前に本取扱説明書をご一読いただき、特に安全に関する注意事項をよくお読みいただき、認識してください。そうすることで、コーヒーグラインダー E65W GbS を安全に始動させ、危険なくご使用になることができます。

取扱説明書は欧州規格・法令に基づき作成しております。ご使用になる国の規格・法令にも注意してください。

簡略化のため、以下コーヒーグラインダー E65W GbSを「グラインダー」と称します。

ご不明な点がある場合に備えて、本取扱説明書はお手元に保管してください。グラインダーを譲渡する場合には、本取扱説明書も併せて新しい所有者および使用者にお引き渡しください。

* GbS の略語は、Grind-by-Sync機能の略です。Grind-by-Sync機能の詳細情報については、P. 14 「Grind-by-Sync」を参照ください。

使用記号の説明

本取扱説明書内、グラインダーおよび梱包材上では以下の記号と標識が使用されています。



警告！

この標識/記号は、回避しなければ死亡事故または重傷につながるおそれのある中程度の危険性を示しています。



注意！

この標識/記号は、回避しなければ軽傷または中程度の怪我につながるおそれのある軽度の危険性を示しています。

注意！

本警告表示は物品破損の可能性について注意喚起しています。



この記号は、運転または取扱いに関して役立つ参考情報を提供します。



適合宣言：本記号が記載されている製品は、欧州経済地域の適用される指令・規則すべてに適合していることを意味します。



認証マークUKCA：本記号が記載されている製品は、製品の電気安全に関する英国の要件を満たしています。



Intertek

認証マークETLの記載：本記号が記載されている製品は、製品の電気安全に関する米国の要件を満たしています。



Intertek

本記号が記載されている製品は、食品衛生に関してNSF（National Sanitation Foundation：国立公衆衛生財団）が要求する基準に従っています。



本記号が記載されている製品は、屋内でのみの使用が許可されています。



この記号は感電の危険を示します。



本記号は、グラインダーが保護等級Iに対応していることを意味します。

安全について

適切な使用

グラインダーは十分に焙煎したコーヒー豆をグラインドするためのものです。グラインダーをその他の製品や物体を挽くために使用しないでください。

グラインダーは、商業施設やレストラン、食堂、病院などでの商用利用を目的としています。ただし、連続的に行う大量抽出（連続運転）には向いていません。グラインダーは、研修を受けた人のみメンテナンスを行うことができますが、メンテナンスを監督する人がいれば他の人が操作することもできます。

その他の用途での使用は不適切な使用とみなされ、物品の破損や人体の怪我につながるおそれがあります。グラインダーを改造しないでください。安全に関する注意事項を遵守しなかったために発生した怪我や損傷について、メーカーおよび販売取扱業者は一切の責任を負いません。

安全に関する注意事項

警告！

感電のおそれがあります！

不適切な取扱い、誤った電気系統への取り付け、過度の電圧は感電の原因となるおそれがあります。

- コンセントの電圧が機銘板に記載の情報と一致している場合にのみ、グラインダーの電源を差し込むようにしてください。
- 事故発生時には電源からすぐに離せるように、グラインダーを手の届きやすいコンセントにのみつなげるようにしてください。
- 電源ケーブルまたはプラグに目に見える損傷や不具合が認められる場合はグラインダーを使用しないでください。
- グラインダーの電源ケーブルが損傷している場合は、危険を避けるため製造業者または専門家による交換を行ってください。
- 接地していない状態でグラインダーを運転しないでください。
- グラインダーは16 A-slowヒューズまたは15 A負荷ヒューズ（米国）を備えた電源にのみ接続してください。グラインダーの設置場所の電源接続がこのような保護をされていない場合、有資格の電気技師に依頼して16 A-slowのヒューズまたは15 A負荷ヒューズを取り付けてください。
- グラインダーは訓練を受けた人員が監督できる場所にのみ設置してください。
- 標高2,000 m以上の場所では、グラインダーを運転しないでください。

- グラインダーや電源ケーブル、電源プラグを水などの液体に浸けないでください。
- グラインダーをウォータージェットで清掃しないでください。
- グラインダーの清掃に圧縮空気を使用しないでください（例：エアブロワーの使用）。
- 電源プラグは決して濡れた手で触れないようにしてください。
- 電源プラグを引き抜くときは、ケーブルではなくプラグ部分を持って引き抜いてください。
- 電源ケーブル部分を持ち運びの際に持ち手としてつかまないでください。
- グラインダー、電源ケーブル、電源プラグを火や熱に近づけないでください。
- つまづく危険がないように電源ケーブルを敷設してください。
- 電源ケーブルを曲げたり、鋭利な角にひっかけたりしないでください。
- グラインダーは屋内でのみ使用してください。グラインダーを湿度の多い部屋や雨の中で使用しないでください。
- お子さまがグラインダーに近づかないよう、ご注意ください。
- お子さまがグラインダーに物を入れないよう、ご注意ください。
- グラインダーを使用しない場合、清掃時、または不具合が発生している場合には、グラインダーの電源を切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- 筐体はご自身で開けず、修理は専門の業者に任せるようにしてください。修理に関しては専門の修理工場にお問い合わせください。ご自身で修理を行った場合、誤った接続・運転を行った場合、損害賠償請求や保証は一切無効になります。修理の際は、元来の機器の仕様に対応する部品のみ使用してください。本グラインダーには、危険防止に不可欠な電気・機械部品があります。

警告！

お子さまや身体の不自由な方、感覚障害の方、知的能力の弱い方（身体の一部が不自由な方、心身的能力に制限のある年配の方など）、経験や知識が不足している方（青少年の方など）には危険が及ぶおそれがあります。

- 本グラインダーは、お子さまや体の不自由な方、および感覚障害の方、知的能力の弱い方、経験や知識が十分でない方による使用は意図されておりません。お子さまがグラインダーで遊ぶことがないようにしてください。
- グラインダーの運転中は目を離さないでください。
- お子さまに梱包用フィルムで遊ばせないでください。お子さまがこうした物で遊ぶと身体が絡まり、窒息のおそれがあります。
- お子さまに小さな部品で遊ばせないでください。小さな部品を飲み込むと、生命に危険を及ぼすおそれがあります。

注意！

転倒や怪我のおそれがあります！

グラインダーの取り扱いを誤ると怪我をするおそれがあります。

- 人が電源ケーブルに足をひっかけ、はずみでグラインダーが落ちないように配置してください。
- グラインダーは平らで安定した場所に設置し、倒れないようにしてください。

グラインダーの仕組み

操作モード

グラインダーは、原則的にレシピに応じて豆挽きするように設計されています。

最大6種類のレシピを設定できます。レシピを設定する際には、分量や挽き具合などの詳細を決定します (P. 13 「レシピ詳細」参照)。

豆挽きは、希望のレシピを有効にして選択するか(操作モード レシピの選択)またはグラインダーがポルタフィルター を使用して希望のレシピを認識し、自動的に豆挽きします(操作モードポルタフィルター 検出)。

レシピ選択操作モードとポルタフィルター 検出操作モードで選択可能なレシピは、ディスプレイ (13) 上に対応するアイコンで表示されます。ディスプレイの右端の回転ノブ (2) の隣にアイコンが表示され、これを使用して希望の選択を行うことができます。

レシピの選択

既存のレシピを有効化または無効化にすることができます。有効化されたレシピのみがディスプレイ (13) の選択範囲に表示されます。

レシピを選択すると、対応するポーションがそれぞれの豆挽き具合で挽かれます。

必要に応じて、レシピで豆挽きする前に、レシピ別の豆挽き具合を1回のみ、または永続的に変更することができます。レシピ別のポーションを多くする場合は、レシピ豆挽きが完了した後、上部操作ボタン (20) を使用して、追加で少量を豆挽きすることができます (P. 21 「グラインダーを空になるまで挽く」も参照)。



手動設定モードのレシピの場合 (レシピ手動豆挽き)、分量を手動で指定します (P. 14 「豆挽きの開始/停止」も参照ください)。



納品時は3種類のレシピが有効になっています：



シングルショット : 12 g エスプレッソ | 50 μ m



ダブルショット : 18 g エスプレッソ | 50 μ m



手動豆挽き | 50 μ m

ポルタフィルター 検出

ポルタフィルター 検出操作モードでは、グラインダーは、挿入後の重量に基づいて、さまざまなポルタフィルター を認識し、各ポルタフィルター に割り当てられたレシピを自動的に豆挽きします。

まずポルタフィルター を登録し、登録したポルタフィルター をレシピに割り当てる必要があります。

レシピ詳細

レシピごとに次のレシピ詳細を指定します：

・ 設定モード：	P. 13 「設定モードと分量」 参照。
・ 分量：	
・ レシピ名：	シングル、ダブルなど。
・ レシピマーク：	選択項目に表示されます。
・ グラインドディスクの間隔：	P. 13 「挽き具合」 参照。
・ ポルタフィルター 検出を有効にします：	ポルタフィルター 検出で使用するレシピを有効/無効にします。
・ Grind-by-Syncを有効にします。	P. 14 「Grind-by-Sync」 参照。

以下に記載されているレシピ詳細は、豆挽き仕上りに影響します。

設定モードと分量

設定モードを使用して、レシピの分量を定義する方法を決定します。

選択できる設定モードは3つあります：

重量 (weight)：(豆挽き) 重量に基づいて分量を定義します。

時間 (time)：(豆挽き) 時間に基づいて分量を定義します。

手動：手動で豆挽きを制御します。すなわち、豆挽きプロセスごとに個別に分量を決定します (P. 14 「豆挽きの開始/停止」も参照ください)。

挽き具合

グラインドディスク間隔、すなわち2つのグラインドディスク間の距離 (Disc-Distance)に基づいて挽き具合を定義します。

グラインドディスクの間隔は μm 単位で指定します：

- ・ μm 値が小さいほど (すなわちグラインドディスク間隔が小さいほど) 豆がより細くなります。
- ・ μm の値が大きいほど (すなわちグラインドディスク間隔が大きいほど) 豆はより粗くなります。

Grind-by-Sync

このグラインダーは、グラインダーとSync Scale(別売) の無線通信を可能にする Grind-by-Sync テクノロジーが搭載されています。Grind-by-Sync を使用すると、あらゆる場所で、デバイスを操作するすべての人が、同じ仕様でエスプレッソを再現することができます。

インテリジェントなアルゴリズムがグラインドディスク間隔、すなわち挽き具合を精密に制御するため、ユーザーは手動で調整する必要がなく、一貫して完璧な抽出が確保されます。

Grind-by-Syncをご使用になるには、”Mahlkonig Sync” アプリのダウンロード・アカウント登録を経て、ご使用になるグラインダーとSync Scaleをアプリに登録していただく必要があります。詳細は、別紙のマールクーニクSyncアプリ設定マニュアルをご参照ください。

豆挽きの開始/停止

ポータフィルターを挿入すると常に自動的に豆挽きが始まります。

重量/時間設定モードでのレシピ

指定した分量のレシピを豆挽きする場合、レシピ固有のポーションが豆挽きされると自動的に豆挽きが停止します。

手動設定モードのレシピ

手動豆挽きレシピでは、ポータフィルターを取り外して手動で豆挽きを停止します。



グラインダーを空になるまで挽くには、上部操作ボタン (20) (P. 21 「グラインダーを空になるまで挽く」参照)を使用します。

初回起動

グラインダーと納品内容を確認する

注意ポルタフィルター

破損のおそれがあります。

鋭利なもの（ナイフなど）を使用して、注意を払わずに開梱したり、梱包材からグラインダーを持ち上げる際に適切に扱わなかった場合、グラインダーが損傷する可能性があります。

- 開封時は十分に注意してください。
- グラインダーはポルタフィルターサポート/ホルダーを持って持ち上げず、必ずハウジングを持ち、常に両手で持ち上げてください。

1. グラインダーを梱包から取り出します。

重要：グラインダーを梱包材から持ち上げるとき、またグラインダーを移動するときは、絶対にポルタフィルターサポート (10) やポルタフィルターホルダー (11) を掴まず、ハウジングのみを持ち、必ず両手で持ってください。

2. 納品物がすべて揃っていることを確認します（図 A-G参照）。
3. グラインダーおよび各部品に破損がないか確認してください。破損がみられる場合、グラインダーを使用しないでください。最寄りの販売取扱業者までお問い合わせください（P. 34 「メンテナンスとサービス」参照）。



グラインダーは納品前に多くの機能テストを受けているため、コーヒー粉末が残っている可能性があることにご注意ください。

グラインダーを設置し、接続する

1. グラインダーは平らで安定していて衝撃のない場所に設置してください。
2. グラインダーがオフになっていることを確認します（オン/オフスイッチ (4) が0位置に設定されている）。
3. 豆ホッパー (1) を設置し、固定ねじ (16) で固定します（P. 16 「豆ホッパーを配置する」参照）。
4. ロックされるまで挽き口 (12) をサポートに慎重に押し上げ、挽き口をグラインダーに取り付けます。
5. ロードセルカバー (8) をグラインダーに取り付けます。
6. ドリップトレイ (9) を挽き口の下にある対応するハウジングのくぼみに挿入します。

7. 電源プラグ (5) を適切に設置されたアース付きソケットに挿入して、グラインダーを電源に接続します。



グラインダーは、豆ホッパーがはまっていないと、自動的に電源が切れます。

基本的な取扱い

豆ホッパーを配置する / 取り外す



豆ホッパーの固定ネジを締めたり外したりするには、マイナスドライバー（お客様でご用意ください。）が必要です。

豆ホッパーを配置する

1. グラインダーがオフになっていることを確認します（オン/オフスイッチ (4) が0位置に設定されている）。
2. 豆ホッパー (1) を豆ホッパー受け (15) に配置します（図 B参照）。
豆ホッパーを装着するときは、豆ホッパーの突出部分が豆ホッパー受けの対応するくぼみに配置されていることを確認してください。
3. 豆ホッパーを豆ホッパー受けに押し込み、豆ホッパーを時計回りに回してグラインダーに固定します。
豆ホッパー回しても固定できない場合は、豆ホッパーが正しく装着されていない可能性があります。この場合、豆ホッパーの位置を正しく合わせ（ステップ2参照）、下に押し、回転させて固定してください（P. 29 「不具合の是正」も参照）。
4. マイナスドライバーを使用して、豆ホッパーのロックねじ (16) を時計回りに締め付けます。



グラインダーは、豆ホッパーがはまっていないと、自動的に電源が切れます。

豆ホッパーの取り外し

1. スライド式つまみ (17) をスライドさせて、グラインダー側の豆ホッパー (1) の口を閉じます。
2. グラインダーが空になるまで、残っているコーヒー豆をグラインダーで挽いてください（P. 21 「グラインダーを空になるまで挽く」参照）。
3. マイナスドライバーを使用して、豆ホッパーのロックねじ (16) を緩めます。

4. 豆ホッパーを反時計回りに回してグラインダーから緩め、豆ホッパーを持ち上げてグラインダーから外します。

ポルタフィルターホルダーサポートと挽き口を調整する



ポルタフィルターホルダーサポート を調節するにはマイナスドライバーが必要です（お客様でご用意ください）。

ポルタフィルターホルダーサポート (10)をお使いのコーヒーマーカー のポルタフィルターのサイズに調整します（図Cを参照）：

1. グラインダーがオフになっていることを確認します（オン/オフスイッチ (4)が0位置に設定されている）。
2. マイナスドライバーを使用して、ポルタフィルターホルダーサポート 調整用ねじ（左右）(7)を反時計方向に回して緩めます。
ポルタフィルターホルダーサポート が止まるまで下に降ろします。
3. ポルタフィルター をポルタフィルターホルダー 受け (11)に差し込みます。
4. ポルタフィルターホルダーサポート を可能な かぎり上にずらして、ポルタフィルターがポルタフィルターホルダーサポート と受けの間にくるよう調整してください。



付属のポルタフィルターホルダーサポート が合わない場合は、メリタジャパンお客様相談室までお問い合わせください（P. 34 「メンテナンスとサービス」参照）。

5. ポルタフィルターホルダーサポート を所定の位置に配置し、ポルタフィルターホルダーサポート調整用ねじ（左右）をマイナスドライバーで時計回りに回転させしっかり固定します。
6. 挿入したポルタフィルター の中央にある挽き口から挽いた粉が落ちるように挽き口を合わせます。

挽き口ガイド(18)をロック内で上下にスライドさせ、挽き口(12)をお使いのポルタフィルター に最適な位置に合わせます（図E参照）。

グラインダーのオン/オフ

グラインダーの電源を入れる

1. 電源プラグ (5) が正しく取り付けられた接地コンセントに差し込まれていることを確認してください。
2. オン/オフスイッチ (4) を位置 I に設定して、グラインダーをオンにします。
グラインダーは、ディスプレイ (13) に、最後に選択したレシピが表示されたら、起動状態になっています。

グラインダーの電源をオフにする

- » オン/オフスイッチ (4) を位置 0 に設定して、グラインダーをオフにします。

コーヒー豆を投入する

1. 豆ホッパー (1) のフタを取り外します。
2. 十分に焙煎したコーヒー豆を豆ホッパーの上部から投入してください。



最大投入量は、豆ホッパーの縁から約1cm下です。

最小充填量は、豆の量に変動がないように、フィンガーガードから約1 cmの高さにする必要があります。

3. 豆ホッパーにフタをします。
4. 必要に応じて、スライド式つまみ(17)を引き出して、豆ホッパーを開きます(図Bを参照)。



豆ホッパーのフタにあるクリップ(14)を使用して、現在使用しているコーヒー豆の種類を示すラベルなどをグラインダーに貼り付けてください。

コーヒー豆の種類を変更する

1. 豆ホッパー (1) をグラインダーから取り外します (P. 16 「豆ホッパーの取り外し」 参照)。
必ず豆ホッパーをグラインダーに向かって閉じ、グラインダー内に残った豆を完全に挽いてから豆ホッパーを取り外してください。
2. 豆ホッパーに残っているコーヒー豆を取り除きます。
3. 必要に応じて、豆ホッパー受け (15) から余分な豆を取り除きます(図 B 参照)。
4. 豆ホッパー (1) を再び設置し、固定ねじ (16) で固定します(P. 16 「豆ホッパーを配置する」 参照)。

5. 豆ホッパーに新しいコーヒー豆を投入します。
6. 必要に応じて、スライド式つまみ (17) を引いて豆ホッパーを開きます。
7. 古いコーヒー豆の残りを取り除くため、グラインダーで挽き、豆の量が安定するよう、2〜3ショット分豆を挽いてください。

グラインダーの使用

注意！

過熱の危険！

最大許容運転サイクルを超えると、グラインダーが過熱する可能性があります。

- 最大許容運転サイクルを超えないようにしてください (P. 33 「仕様情報」参照)。
- 最大許容運転サイクルに達した場合、推奨される休止時間をを守ってください (P. 33 「仕様情報」参照)。



グラインダーには過電流保護用温度ヒューズがあり、過電流が起きた時にグラインダーの電気回路を遮断します。グラインダーを再び始動するには、オン/オフスイッチ (4) をスイッチ位置 0 (オフ) に設定します。その後、解除ボタン(6)を押し込みます。その後、電源スイッチをI に入れ、グラインダーの電源を再びオンにすることで、グラインダーを運転できる状態に戻します(P. 29 「不具合の是正」参照)。



グラインダーには、モーターが過熱した場合にグラインダーをオフにするモーター保護機能があります。モーターが冷え次第、グラインダーの運転を再開できるようになります(P. 29 「不具合の是正」参照)。

注意！

破損のおそれがあります。

保護用温度ヒューズが繰り返し作動する場合は、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。モーターコイルが破損している可能性があります。

豆挽きを開始する

レシピ選択による豆挽き

1. 回転ノブ(2)を回して、希望のレシピを選択します(図 F参照)。
ディスプレイ (13) には、レシピの詳細が表示されます (P. 13 「レシピ詳細」参照)。



最後に設定したグラインドディスク間隔がレシピ固有のグラインドディスク間隔と異なる場合、レシピ固有のグラインドディスク間隔がディスプレイに赤色で強調表示され、希望のグラインドディスク距離を再度確認することができます。

2. ポルタフィルターをポルタフィルターホルダー (11) とポルタフィルターサポート (10) 間に挿入し、ポルタフィルターを放します。

グラインダーは選択したレシピに従って自動的に豆挽きを開始します。

グラインド中、増加する豆挽き重量/残りの豆挽き時間がディスプレイ (13) に表示されます。

重量/時間設定モードでのレシピ:

赤色のランプは、ポルタフィルターに触れてはならないことを示しています。

レシピ固有の分量に達すると、ランプが緑色に変わり、豆挽きプロセスが完了し、ポルタフィルターを取り外すことができることを示します。

手動設定モードのレシピ:

3. 手動設定モードのレシピの場合は、希望の分量に達したらポルタフィルターを取り出して、豆挽きを停止します。

ポルタフィルター検出での豆挽き



ポルタフィルター 検出操作モードでグラインダーを使用できるようにするには、すなわちグラインダーがさまざまなポルタフィルターを自動的に認識できるようにするには、使用する各ポルタフィルターを「学習プロセス」で検出する必要があります (P. 23 「ポルタフィルター検出の使用」参照)。

1. 必要に応じて回転ノブ (2) を回し、操作モードポルタフィルター 検出を選択します (図 F 参照)。
2. ポルタフィルターをポルタフィルターホルダー (11) とポルタフィルターサポート (10) 間に挿入し、ポルタフィルターを放します。

ディスプレイ (13) には、レシピの詳細が表示されます (P. 13 「レシピ詳細」参照)。グラインダーは指定されたレシピに従って自動的に豆挽きを開始します。

グラインド中、増加する豆挽き重量/残りの豆挽き時間がディスプレイに表示されます。赤色のランプは、ポルタフィルター に触れてはならないことを示しています。

レシピ固有の分量に達すると、ランプが緑色に変わり、豆挽きプロセスが完了し、ポルタフィルターを取り外すことができることを示します。

グラインダーを空になるまで挽く



グラインダーを空になるまで挽くには、上部操作ボタン (20) を使用します。

空豆挽きのほか、レシピ豆挽きが完了した後、上部操作ボタンを使用して手動で少量の追加豆挽きを行うことができます。

1. ポルタフィルターをポルタフィルターホルダー (11) とポルタフィルターサポート (10) 間に挿入し、ポルタフィルターを放します。
2. 上部操作ボタン (20) を押したまま保持します (図 F 参照)。
上部操作ボタンを押している間、グラインダーが豆挽きを行います。
3. グラインダーが空運転されている場合は、上部操作ボタンを放してグラインダーを停止します。

豆挽きを中断する



豆挽きを一時停止し、続行できるのは、時間設定モードのレシピのみです。重量ベースのレシピ(重量設定モード) は、ポルタフィルターがポルタフィルターホルダーに挿入されるたびにゼロにリセットされ、レシピ固有の分量の豆挽きが再開されるため、中断できません。

ポルタフィルターをポルタフィルターホルダー (11) から引き抜くと豆挽きは自動的に停止し、ポルタフィルターをポルタフィルターホルダーに再度挿入するとすぐに豆挽きが再開されます。

1. 豆挽きを中断して豆挽き時間を停めるには、豆挽き中にポルタフィルターをフィルターホルダー受け(11)から引いてください。
2. 設定した中断時間が経過する前に、ポルタフィルターをポルタフィルターホルダー(11)とポルタフィルターサポート(10)の間に押し込んで戻します。

中断されたグラインドは、豆挽き時間が経過するまで自動的に続行されます。



豆挽きプロセスを続行しない場合は、回転ノブ (2) を押します。表示は選択したレシピ/操作モードに直接ジャンプし、以前に停止した時間が取り消されます。中断時間の長さはメインメニューから設定することができます。

メインメニューの使用/設定

メインメニューを呼び出して操作する

メインメニューを使用して、機器データを呼び出し、個別の設定を行うことができます。メインメニューに移動せずに、一部の設定(レシピの調整など)を直接行うこともできます。

1. 下部操作ボタン(19)を押して、ディスプレイ(13)にメインメニューを呼び出します。
2. 回転ノブ(2)を回して、目的のメニュー項目を選択します。
3. 希望のサブメニューにアクセスするには、回転ノブを押して選択を確認します。

処理をキャンセルしてメインメニューを終了するには、下部操作ボタン(19)を押します。

4. 必要に応じて回転ノブを回して、サブ項目を選択し、回転ノブを押して選択を確定します。

プロセスをキャンセルしてサブメニューを終了するには、下部操作ボタンを押します。



メインメニューもしくはサブメニューで4分以上何も選択しないもしくは確定しないと、自動的にスタート画面に戻ります。選択されても確定していない項目は保存されません。

レシピを編集する

工場出荷時には常に6つのレシピがプリセットされています。これら6つのレシピは個別に編集できます。

レシ
(P.

ポルタフィルター検出の使用

ポルタフィルター 検出操作モードでグラインダーを使用できるようにするには、すなわちグラインダーがさまざまなポルタフィルターを自動的に認識できるようにするには、使用する各ポルタフィルターを「学習プロセス」で検出する必要があります。

最大10件のポルタフィルター を保存できます。

ポルタフィルター 登録すると、レシピに割り当てて有効にすることができます。

ロードセルの校正



メーカーは、1 kgの校正用分銅*を使用してロードセルを校正することを推奨しています：

- ・ 毎週または必要に応じて**、
- ・ ポルタフィルターサポート を再調整した後、
- ・ グラインダーの再配置後。

1. 校正を実行する前に、ブラシを使用して注ぎ口 (12)、ポルタフィルターホルダー (11)、ポルタフィルターサポート (10)、およびロードセルカバー (8) からコーヒー挽粉を取り除きます。
2. 校正を開始します。
3. 校正中は、ディスプレイ (13) の指示に従ってください。

* 特定のプロセス/イベントにより、ロードセルの再校正が必要になります。P. 29 「不具合の是正」も参照ください。

清掃

注意！

怪我のおそれがあります！

移動の際にグラインダーが落下して怪我をするおそれがあります。

- グラインダーは常に傾かない安定した台の上に置いてください。
- グラインダーが重すぎる場合は、必要に応じて他の人に手伝ってくれるよう依頼してください。

注意！

ショートする危険があります！

グラインダーに水を入れるとショートの原因となるおそれがあります。

- 如何なる場合にも、グラインダーを水やその他の液体に浸さないでください。
- グラインダーをウォータージェットやスチームクリーナーで洗わないでください。
- この他にも、水や液体がグラインダー筐体の内部に入らないよう注意してください。

注意！

破損のおそれがあります。

不適切な取り扱いをした場合、グラインダーが破損する原因となるおそれがあります。

- 強力な洗浄剤や、ナイフや金属たわしといった鋭利な刃物や金属製清掃用具を使用しないでください。このような用具等を使用すると、グラインダー表面に傷をつける可能性があります。
- グラインダーの清掃に圧縮空気を使用しないでください（例：エアブロワーの使用）。
- ドリップトレイや豆ホッパーのふたは、食器洗浄機に入れないでください。これらの部品は食器洗浄機に適しておらず、色落ちする可能性があります。
- グラインダーは、豆ホッパーやポルタフィルターサポート /ホルダーを持って持ち上げず、必ずハウジングを持ち、常に両手で持ち上げてください。

グラインダー底面を清掃する

1. グラインダーの電源をオフにし（電源スイッチ（4）を位置 0にする）、電源プラグ(5)をコンセントから引き抜いてください。
2. 筐体を両手で持ってグラインダーを持ち上げ、清潔な平面に置いてください。

重要：グラインダーにはポルタフィルターサポート（10）またはポルタフィルターホルダー(11)には絶対に触れず、必ずハウジングを持ち、常に両手で持ち上げてください。

3. 湿ったタオルでグラインダーの底面と背面を清掃し、表面を乾かしてください。

表面を乾燥させ、油分や脂肪の付着がないようにしてください。

4. グラインダーを清掃した設置面に再度水平に立てて置いてください。
5. ロードセルを校正してください(P. 24 「ロードセルの校正」参照)。

筐体を清掃する

1. グラインダーの電源をオフにし（電源スイッチ（4）を位置 0にする）、電源プラグ(5)をコンセントから引き抜いてください。
2. 以下のグラインダーの部品をブラシで清掃してください。

- ・ 挽き口（12）
- ・ ポルタフィルターホルダー受け（11）
- ・ ポルタフィルターサポート（10）、
- ・ ポルタフィルターホルダーサポート 調整用ねじ（7）（左右）

3. ドリップトレイ(9)をグラインダーから前方に引き出します。

必要に応じて(ただし、最低でも週に1回)湿らせたタオルで筐体とドリップトレイを拭きます。

4. ロードセル（8）のカバーはマグネットホルダーでグラインダーに固定されています。グラインダー上部のカバーを取り外します。
5. ブラシを使用して、ロードセルエリアからコーヒの粉などを取り除きます。
6. 次に、取り外した部品を清掃のために再度取り付けます。

挽き口システムを清掃する



挽き口装置は週に1回清掃する必要があります。

メーカーは、挽き口システムの清掃のためにナイロンブラシの使用をおすすめしています。

1. 挽き口 **(12)** を引き下げて、ロックから外します (図Gを参照)。
2. ブラシを使って、ハウジングのコンセント (挽き口ロック) を清掃します。
3. 挽き口は湿った布で清掃し、その後に乾かしてください。
4. ロックされるまで挽き口をサポートに慎重に押し上げ、挽き口をグラインダーに再び取り付けます。



挽き口の表面を傷つけないように注意してください。細かい引っかかり傷は、コーヒーの粉が引っかかり傷に付着し、豆挽き結果に悪影響を及ぼし、豆の量にばらつきが生じる可能性があります。

豆ホッパーを清掃する



豆ホッパーは、毎日コーヒーの残油分を取り除いて清掃してください。コーヒーの油分が滞留すると風味に悪影響を与えます。

1. 豆ホッパー **(1)** をグラインダーから取り外します (P. 16 「豆ホッパーの取り外し」参照)。
必ず豆ホッパーをグラインダーに向かって閉じ、グラインダー内に残った豆を完全に挽いてから豆ホッパーを取り外してください。
2. 必要に応じて、一時的にコーヒー豆を別の容器に移してください。
3. 湿らせた布で豆ホッパーの内側と外側を清掃し、再度乾かしてください。
4. 必要に応じて、豆ホッパー受け **(15)** から余分な豆を取り除きます (図 B 参照)。
5. 豆ホッパーを再び設置し、固定ねじ **(16)** で固定します (P. 16 「豆ホッパーを配置する」参照)。
6. コーヒー豆を豆ホッパーに再び投入してください。
7. 必要に応じて、スライド式つまみ **(17)** を引いて豆ホッパーを開きます。

グラインダーを清掃する



グラインダーは2～5日毎に清掃する必要があります。

メリタジャパンでは、グラインダークリーン450gを推奨しています。
詳細は以下のホームページをご覧ください。

https://www.melitta.co.jp/melitta_pro/parts/grinderclean/



グラインダーを清掃する際には、最も粗い挽き具合 (= 可能な限り高い μm 値) を使用してください。

1. 豆ホッパー (1) をグラインダーから取り外します (P. 16 「豆ホッパーの取り外し」 参照)。
必ず豆ホッパーをグラインダーに向かって閉じ、グラインダー内に残った豆を完全に挽いてから豆ホッパーを取り外してください。
2. グラインダー洗浄剤を上から直接グラインダーに詰めてください。
グラインダー洗浄剤を使用する際には、メーカーの指定する洗剤量に注意してください。
3. 必要に応じて、余分な量の洗浄剤を豆ホッパー受け (15) から取り除いてください。
4. 豆ホッパーを再び設置し、固定ねじ (16) で固定します (P. 16 「豆ホッパーを配置する」 参照)。
5. 豆受け容器を挽き口 (12) の下に置き、グラインダー洗浄剤を回収します。
6. 上部操作ボタン (20) を押して、豆挽きを開始し、グラインダー洗浄剤が完全に粉砕されるまで押し続けます。
7. 必要に応じて、スライド式つまみ (17) を引いて豆ホッパーを開きます。
8. 残っている洗浄剤小片を取り除くため、先のグラインダー洗浄剤と同じ分量だけコーヒー豆を挽いてください。
9. グラインダー洗浄剤とこの時に挽いたコーヒー豆は事業系一般ごみ/生活ごみとして廃棄してください。

不具合の是正

不具合	原因	解決方法
グラインダーが豆を挽かず、ディスプレイが点灯しない。	・電源プラグが差し込まれていません。	» 電源プラグを適切に取り付けられたコンセントに差し込んでください。
	・豆ホッパーが取り付けられない。	» 豆ホッパーを挿入します(P. 16 「豆ホッパーを配置する」参照)。
	・過電流保護用温度ヒューズが切れた。	» ヒューズの解除ボタンが抜けているか確認してください。必要に応じてボタンを再度押してください。ヒューズが何度も切れる場合は、メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。
	・電気ヒューズが切れた。	» 電気ヒューズを確認してください。電気ヒューズを初期状態に戻すか、交換してください。このヒューズに他に負荷をかけるものが接続されていないか確認し、必要に応じてプラグを抜いてください。ヒューズが繰り返し切れる場合は、メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。

不具合	原因	解決方法
グラインダーが音を立てるが、豆を挽かない。	・ グラインダーが詰まる。	» 最も粗い挽き具合 (= 可能な最大 μm 値) を設定し、豆挽きプロセスを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。その後、操作中に挽き具合を調整して希望の μm 値に戻します。
	・ フィルターホルダー内の分量が多すぎて、グラインダーにコーヒー粉が溜まっている。	» 挽きロシステムを清掃してください (P. 27 「挽きロシステムを清掃する」参照)。最も粗い挽き具合 (= 可能な最大 μm 値) を設定し、豆挽きプロセスを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。その後、操作中に挽き具合を調整して希望の μm 値に戻します。
	・ 挽き具合が細かいすぎる。	» 最も粗い挽き具合 (= 可能な最大 μm 値) を設定し、豆挽きプロセスを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。その後、操作中に挽き具合を調整して希望の μm 値に戻します。
	・ グラインダー内に異物がある。	» グラインダーを清掃し (P. 25 「清掃」参照)、異物を取り除きます。異物を取り除けない場合、メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。
グラインダーが挽けず、ディスプレイが赤色に表示される。	・ グラインダーが測定しない。	» ロードセルを校正する必要があります (P. 24 「ロードセルの校正」参照)。
グラインダーが独自に豆挽きする/自動的に作動する。	・ グラインダーが正しく測定しない。	» ロードセルを校正する必要があります (P. 24 「ロードセルの校正」参照)。

不具合	原因	解決方法
グラインダーが十分に細かく豆を挽かない。	・ グラインドディスクが摩耗しているか、新たに調節しなければなりません。	» グラインドディスク間隔の精密校正を実行してください (P. 24 「グラインドディスク間隔の精密校正」) » グラインドディスクの交換は、メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。
グラインダーが豆挽きを行わないか、豆挽きが中断しません。	・ グラインダー入り口前にコーヒー豆のブリッジが形成される。コーヒー豆が落下しない。	» グラインダーを清掃してください (P. 28 「グラインダーを清掃する」参照)。
グラインダーが正しく/正確に計量しない。	・ ロードセルの位置がずれている。 ・ 設置場所が安定していない (不均衡な設置面、振動があるなど)。	» ロードセルを校正する必要があります (P. 24 「ロードセルの校正」参照)。 » グラインダーを水平で振動のない保護された場所に置きます。
グラインダーが取り付けしたフィルターホルダーの中央に抽出しない。	・ 挽き口が正しくフィルターホルダーに調整されていない。 ・ 挽き口が詰まっている。	» 挽き口を使用するフィルターホルダーに合わせて正しく調整してください (P. 17 「ポータフィルターホルダーサポートと挽き口を調整する」参照)。 » 挽き口システムを清掃してください (P. 27 「挽き口システムを清掃する」参照)。
豆ホッパーが設置できません。	・ 豆ホッパー受けに豆が入っています。	» 豆を豆ホッパー受けから取り除いてください。

不具合	原因	解決方法
グラインダーの抽出精度が落ちている。	・ 設置場所など、使用環境条件が変わった。	» ロードセルを校正する必要があります (P. 24 「ロードセルの校正」参照)。
	・ 校正間隔を超えた。	» ロードセルを校正する必要があります (P. 24 「ロードセルの校正」参照)。
	・ 挽き口が詰まっている。グラインダーの内部に、挽きすぎたコーヒーが沈殿しすぎている。	» 挽きロシステムを清掃してください (P. 27 「挽きロシステムを清掃する」参照)。最も粗い挽き具合 (= 可能な最大 μm 値) を設定し、豆挽きプロセスを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。その後、操作中に挽き具合を調整して希望の μm 値に戻します。
	・ グラインダーの挽き口が破損している。	» メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。
	・ フラッパーが汚れており、掃除する必要があります。	» フラッパー (シリコンおよび金属製フラッパー) を清掃します。
	・ シリコンフラッパーが摩耗しており、交換する必要があります。	» メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。
グラインダーカバーが装着できない。	・ 固定式ディスクフランジが正しく取り付けられていない。	» 固定ディスクのフランジは正しく位置合わせされている必要があります。必要に応じて、メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。
	・ 調整リングが正しく取り付けられていない。	» 調整リングは正しく位置合わせされている必要があります。必要に応じて、メリタジャパンお客様相談室までお問合せ下さい。

仕様情報

モデル:	E65W GbS
電圧 周波数 相 定格出力:	100 V 50/60 Hz 1~
保護規格:	IPX1
保護等級:	I 
ヒューズ:	16 A-slow / 15 A
待機時回転数	
50 Hz:	1 400 rpm
60 Hz:	1 700 rpm
ノイズ値 (グラインド中):	70 dBA
豆挽き性能 (細挽き-粗挽き) :	3~4 g/s @60 μ m*
最大許容運転サイクル	
100 V 50/60 Hz:	ダブルエスプレッソ 2回/分 (5秒抽出 / 25秒止め)
110~127 V 60 Hz:	ダブルエスプレッソ 2回/分 (4秒抽出 / 26秒止め)
220~240 V 50/60 Hz:	ダブルエスプレッソ 3回/分 (5秒抽出 / 15秒止め)
推奨休止時間:	15~26秒
最大豆挽き時間:	10分連続使用
最大容量/日:	30 kg
寸法 (幅 × 高さ × 奥行):	195 × 620 × 283 mm
重量 (正味) :	12.2 kg
最大投入量 (標準ホッパー)	1.2 kg

* 豆挽き時間は、選択したコーヒー豆の種類、挽き時間は、選択したコーヒー豆の種類、選択した挽き具合、電源周波数によって異なります。値 60 μ m は、グラインドディスクと校正されたゼロ点の間の距離に対応します。

廃棄

梱包を廃棄する



梱包はきちんと分別して廃棄してください。紙・段ボール類は古紙、フィルムはリサイクルです。

グラインダーを廃棄する



電気機器はここに記載する記号が付されています。古くなったグラインダーを事業系一般ごみ/家庭ごみに捨てないでください。

消費者は、再利用または処分を目的として、たとえば自治体や町・地区が実施するごみ収集の場所で、商業ごみ/家庭ごみとは別に家電製品を引き渡すことが法的に義務付けられています。古い家電を販売店に無償で引き渡すこともできます。これにより、グラインダーは専門的に廃棄またはリサイクルされ、環境に悪影響を及ぼさないようになっています。旧機種に個人情報が入っている場合、消費者は自身で確実に削除しなければなりません。

メンテナンスとサービス

- » サービスまたはメンテナンスを必要とする場合、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。